

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第307回

岡本太郎

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和4年5月16日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

いいんだ。
岡本太郎の責任で
やるんだから。

岡本 太郎は、日本の芸術家。血液型はO型。1930年から1940年までフランスで過ごす。抽象美術運動やシュルレアリスム運動とも接触した。

Column

今回の言葉だけを切り取ると“なんて身勝手な…”と感じるかもしれませんが、芸術家である岡本氏が手掛けてきた作品には、『さすがにこれをたった一人で全てを作り上げられるはずがない…』というような壮大なスケールのもものあります。それでもこの言葉を本人が発することができるということは、それだけの“根拠”があるのだと私は考えます。その根拠とは、きっと『仲間が存在』だと思えます。

みなさんは“勝負する前の準備”をどのように考えていますか？勝負といっても様々だと思います。テストもひとつの勝負です。“今回のテストで学年5番以内に入るぞ！”という目標を勝利と位置づけ、猛勉強をすることは勝負する前の準備と言えるでしょう。スポーツをやってきた私は地元で一番の選手になるという目標を掲げ、当時の地元No.1の選手がいる学校を選びました。もちろん相手チームとして大会で勝負して勝利することもひとつの勝負ですが、レベルの高い選手と常に練習を重ねることで早く成長したいと考えたことが理由です。そういう意味では、もしかしたら岡本氏の仲間も岡本太郎というハイレベルな芸術家と共同制作をすることで、同じ芸術家としての大きな経験や学びになるという“尊敬“も、『いつか岡本太郎を超える！』という“野心”もあると思います。その気持ちも夢を叶える上で非常に大切な部分だと思います。岡本氏もきっとそういう時期もあったはずですし、気持ちはわかるはずですが、いつかは自分の地位を脅かす存在になるかもしれない人を自分の仲間やライバルとし、協力と勝負を繰り返しながら“更に飛躍するんだ！”という思いがあったのではと思います。『こんなに有能なチームメイトがいるのだから自分が全責任を負うことができます！』という自信と『この中から自分を超える逸材が現れてほしい』という期待が今回の“強気発言”を生み出したのではないのでしょうか。

みなさんは仲間と思う人のどこに魅力を感じていますか？みなさんのことを仲間だと思っていてくれる人は、みなさんの魅力を知っているということです。まだ見ぬ自分の魅力や、そばにいてくれる仲間がいることを誇りにして大切な仲間たちとともに目指す道を走っていきましょう！